

saveMLAK ニュースレター

第 33 号

海辺の図書館～ごくごく私的な東日本大 震災からの小さな一歩～

大規模災害が起きた時、図書館、図書館員には何ができるのだろうか？何もできないんじゃないだろうか？何かすべきなんだろうか？東日本大震災から間もなく4年。この間、皆さんと同様、私もずっと考え、悩んできました。少しだけ事情が違うのは、私自身が震災当時、宮城県仙台市若林区荒浜地区に住んでおり、自宅が津波によって全て流されてしまったということです。

被災後は、約半年をかけて、当時働いていた大学図書館の復旧作業をしながら、その様子を saveMLAK の Wiki に投稿したり、東北の図書館員を中心としたみちのく図書館員連合（以下 MULU）のメンバーとして茶話会というイベントを開催していました。しかし、図書館員として何かしたいという思いを持ちつつも、何もできない日々が続きました。

そんな中、2014年6月1日、MULUの茶話会で徳島大学から仙台へ来ていただいた吉田敦也教授との出会いがありました。前日（5/31）に開催された第49回MULU定例茶話会のテーマがまさに「海辺の図書館」。刺激的な講話と懇親会を経て、翌日先生と一緒に荒浜地区を歩き、すでに様々な活動をされている人たちと会って話をしました。そんな時間を過ごしたのがきっかけで「海辺の図書館」が産声を上げました。

「海辺の図書館」は、本を借りたり読んだりするだけでなく、地域情報（書籍化されていない個人の手記や写真等）の展示や掲示を行ったり、住民や図書館を訪れた人々と語ったり、荒浜の空気や風や海の音に触れたりする“生きた図書”の体験もできる「場」としての図書館です。地域を知り、体験し、人とつながり、未来を生み出す、未来を考える「場」。将来は小さな建築物を目指しますが、現実的には建築許可が難しい状況なので、ICTを活用して情報を発信することから活動を始めています。

現在、総務省の地域情報化アドバイザー派遣制度を活用し、吉田先生を中心に「勇気講座」というICTで地域を結ぶ取り組みの講演やワークショップを、月1回ペースで開催しています。吉田先生がこれまで徳島で実践してきた高齢者を対象としたスマホやSNS活用事例の紹介といった講演や、参加者同士と一緒に朝陽をみて、ご飯を食べるといったレクリエーションを通して、地域と人を繋ぐきっかけになるような場づくりをしています。図書館や荒浜に関係する人々だけでなく、老若男女、住んでいる所も職業も違う人たちに参加いただいています。

まだまだ、スタート地点に立ったばかりの取り組みですが、図書館が持つ可能性を探りながら、枠にとらわれず、少しずつ前進していければと考えています。

【海辺の図書館代表 庄子隆弘】



第2回勇気講座「世界一住みたい街からの提案」の様子





勇気講座の合間には、
すいとん汁が振舞われました



朝陽を浴びながら、海辺の砂浜で、図書館体操

saveMLAK 会計 2014 年 12 月期収支

12 月末日現在

<収入>

受取寄付	9,275	図書館総合展
グッズ売上	166,860	図書館総合展
計	176,135	

<支出>

通信費	77,035	サーバ代
支払手数料	972	振込手数料
計	78,003	

12 月末日現在 残高

948,603 円 (11 月比 +98,128 円)

【ファンド係：赤塚 昌俊】

編集後記

あけましておめでとうございます。2015 年最初のニュースレターをお届けしました。1 月にふさわしく看板の色を変えたり、記事を多めにしたりとこだわってみました。

今年も saveMLAK とともによろしく願っています。

【今号編集担当：富澤 美典】

saveMLAK 統計 2014 年 12 月現在

ML アカウント数	283 (±0)
総ユニーク wiki 編集者 アカウント数	532 (+1)
wiki 編集回数の統計	146,979 (+40)
総 wiki ページ数	29,543 (+8)
総 wiki 施設ページ数	25,676 (-1)

12 月の出来事と今後の予定

2014 年 12 月 16 日

第 45 回 saveMLAK MeetUp 開催

2015 年 1 月 21 日

第 46 回 saveMLAK MeetUp 開催

編集発行：saveMLAK プロジェクト

発行日：2015 年 1 月 15 日 (第 33 号)

発行所：神奈川県横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル

さくら Works<関内>408

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

saveMLAK プロジェクト

E-mail：pr@savemlak.jp

URL：http://saveMLAK.jp/



saveMLAK ニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複製・配布等、自由にしていただいても構いません。